

輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～ 発行日：平成 29年 6月 29日

生涯現役活躍できるまちの実現へ 国の生涯現役促進地域連携事業モデル地域に

採択
決定

県内初

■国の採択を受け実現に向けて加速

市やシルバー人材センター等13団体で構成する「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」が、厚生労働省が実施する「生涯現役促進地域連携事業」のモデル地域として採択。H31実装に向けH29.8月から体制の確立と普及啓発に取り組む。

生涯現役活躍できるまち（3 Days Worker's Office構想）

市が有する多様な産業・仕事分野をフィールドとして、高齢者が負担無く、生きがいを感じながら働く機会を創出し、地域・産業・市民それぞれの持続的発展を目指す。



新しい働き方のイメージ例

1 定年退職者による農作業の手伝い

月	火	水	木	金
9:00 12:00		9:00 12:00		9:00 12:00

69歳 男性
市内大学雇員兼カー生産管理部門勤務

- 軽トラックの運転(運搬)
- 収穫農産物の仕分け
- 生産管理シートの構築

農業における生産管理(効率化)示唆
繁忙期における収穫作業

3 高齢者グループによる作業分担(一対多)

月	火	水	木	金
Aさん 9:00 12:00	Bさん 13:00 17:00	Cさん 10:00 15:00		

60代 女性
主婦

- 庭木の手入れ
- 手作業による加工業務
- デスクワーク

一つのまとまった業務を、複数人の高齢者グループにより分担することで、一人あたりの負担を軽減。

5 人材不足する介護の現場での活躍

在職中の資格取得 → 退職後に勤務

45歳 女性
パート勤務

- 高齢者のお話し相手
- 介護士のサポート
- 本格的な介護業務

「大人の社会科見学」や教育研修等を通して、退職前の段階から資格を取得

TaskAru 3 Days Worker's Office構想の新たな愛称 タスカル (TaskAru)

3Days worker's office構想

Task (しごと) がある → タスカル (助かる)

高齢者等の新たな就労や活躍機会の創出により、高齢者自身だけでなく、若者や企業・団体、地域が互いに助かる（互助）の社会の実現を目指す



ふくろい生涯現役促進地域連携協議会が事業主体となる。